

尿定性検査

測定機器	クリニテック アトラス XL (SIEMENS)
結果報告	当日報告(注:4時30分以降の検体提出は必ず電話連絡が必要です)
注意事項	
<p>① 採取した早朝尿または随時尿をできるだけ速やかに提出してください。 採尿後1時間以内に検査できないと影響が出ます。</p> <p>② 尿定性検査は前日の検体や、蓄尿検体は検査できません。 尿を提出するまでは、冷蔵はしないでください。</p>	

検査項目	測定方法	本院基準値	検出感度
色調	試験紙(多波長反射光測定法)	淡黄色～暗黄色	
濁度	吸光度法	(-)	
比重	屈折率法	1.005～1.030	
pH		4.6～8.0	
蛋白	試験紙(多波長反射光測定法)	(-)	高濃度域:30～65mg/dL蛋白質 低濃度域:8～15mg/dLアルブミン
糖		(-)	75～125mg/dLブドウ糖
潜血		(-)	0.015～0.062mg/dLヘモグロビン 5～20個/μL赤血球
ウロビリノーゲン		(NORMAL)	0.1 Ehrich単位/dL 試験紙で完全陰性の判定は できません
ビリルビン		(-)	0.4～0.8mg/dLビリルビン
ケトン体		(-)	5～10mg/dLアセト酢酸
白血球		(-)	5～15個/HPF白血球
亜硝酸塩		(-)	0.06～0.1mg/dL亜硝酸イオン
クレアチニン		50～200mg/dL	25mg/dLクレアチニン
P/C比		(NORMAL)	

尿定性検査判定の解釈

蛋白	結果表示	-	Low	+1	+2	+3
	濃度値(mg/dL)		15	30	100	300=<
糖	結果表示	-	+1	+2	+3	+4
	濃度値(mg/dL)		100	250	500	1000=<
潜血	結果表示	-	±	+1	+2	+3
	濃度値(mg/dL)			0.06		
クレアチニン	結果表示	10	50	100	200	300
	濃度値(mg/dL)	10	50	100	200	300
P/C比	結果表示	NORMAL	150	300	500<	
	計算値(mg/g・Cr)		150	300	500<	

- ① 本機では、蛋白測定に、低濃度域(29mg<)および高濃度域(30mg<)の2種類の試験紙を用いています。結果表示については、機器による切り分けを行っています。
P/C比を算出する際、蛋白濃度が高濃度域から低濃度域への境界域にあるものについては、低濃度域試験紙を用いた結果が感度以下になったとき、高濃度域試験紙の値を採用するようプログラムされていますので、実際より高く出ることがあります。
- ② 蛋白濃度が試験紙の感度以下で、クレアチニンが10mg/dLの場合、P/C比の計算は行いません。
この場合、結果表示には、「ケイサンノウ」と表示します。

尿沈渣検査

測定機器	UF-1000i (SYSMEX)
結果報告	当日報告(注:4時30分以降の検体提出は必ず電話連絡が必要です)
測定方法	定量項目(RBC,WBC,EC,CAST,BACT) 濃度表示(/ μ L):フローサイトメトリー法, BACT(細菌数)については、個別の検出チャンネルを使用 視野当たり個数表示(/HPFまたは/LPF):フローサイトメトリー法からの換算 フラグ項目(RBC由来情報,Path.CAST,SRC,YLC,CRYSTAL,SPERM) フローサイトメトリー法(出現時にのみ表示), 尿導電度は、計測値を表示 その他の成分沈渣 顕微鏡による目視 ※機器判定にて目視対象となったものについては、鏡検を行っています (ただし、沈渣を返却している一部の診療料をのぞきます)

注意事項

- ① 採取した早朝尿または随時尿をできるだけ速やかに提出してください。採尿後、遅くとも4時間以内に検査をしなければ影響が出ます。
- ② 尿沈渣検査は前日の検体や、蓄尿検体は検査できません。尿を提出するまでは、冷蔵はしないでください。
- ③ **必要検体量は12mLです。** 検体量が10mL未満の場合、鏡検結果は参考値となります。

検査項目	本院基準値
RBC(HPF) (赤血球数/HPF)	男: 1~4/HPF 以下 女: 1~4/HPF 以下
WBC(HPF) (白血球数/HPF)	男: 1~4/HPF 以下 女: 1~4/HPF 以下
EC(HPF) (扁平上皮/HPF)	男: 1>/HPF 女: 1~4/HPF 以下
CAST(LPF) (硝子円柱/LPF)	男: 1~/LPF 以下 女: 1~/LPF 以下
BACT(HPF) (細菌数/HPF)	男: +/-/HPF 以下 女: +/-/HPF 以下

検査項目	本院基準値
上皮細胞(扁平上皮を除く)	1>/HPF
円柱(硝子円柱を除く)	-/LPF
通常結晶	1+ /HPF 以下
異常結晶	-
真菌	-/HPF

BACT(細菌数)のフローサイトメトリー測定値(/ μ L)と視野当たり表示(/HPF)との関係

UF-1000i 測定値[/ μ L]	換算値[HPF]
~ 9	-/
10 ~ 99	+/-/
100 ~ 999	1+ /
1000 ~ 9999	2+ /
10000 ~	3+ /

RBC,WBC,ECのフローサイトメトリー測定値(/ μ L)から視野当たり表示(/HPF)への換算表

UF-1000i 測定値[/ μ L]	換算値[HPF]
~ 5.5	1>/
5.6 ~ 27.7	1-4/
27.8 ~ 55.5	5-9/
55.6 ~ 111.0	10-19/
111.1 ~ 166.6	20-29/
166.7 ~ 277.7	30-49/
277.8 ~ 555.5	50-99/
555.6 ~	100</

換算式: 濃度値[/ μ L] \times 0.18 = 換算値[HPF]
 ただし、測定原理上の理由により、目視鏡検で得られた細胞数(/HPF)を、濃度表示(/ μ L)へと換算することはできません。

検査項目	本院基準値
RBC由来情報	-
Path.CAST(封入物を含む円柱)	-
SRC (small round cell)(小円形上皮)	-
YLC(yeast like cell)(酵母様真菌)	-
CRYSTAL(結晶)	-
SPERM(精子)	-

- ① 検体結果表示で、沈渣コメント1に「目視中」と表示されているものは、尿沈渣結果が変更される可能性があります。
- ② 尿沈渣の定量5項目(RBC, WBC, EC, CAST, BACT)の結果報告はフローサイトメトリー法による濃度表示(単位: / μ L)と、濃度値から換算された視野当たりの個数表示(単位: /HPFまたは/LPF)との併記となります。
- ③ 鏡検対象となった検体は、視野当たりの個数表示のみ変更しますが、濃度表示には変更は加えません。解離が大きい場合は測定不能とします。
- ④ 検体結果表示で、沈渣コメント1に「目視済み」と表示されていて、濃度表示と視野当たりの個数表示との間に解離が見られる場合には、視野当たり個数表示を真として判断をお願いします。